

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合/自家用車に頼らなくても移動しやすいまちと思う市民の割合/大学等新規学卒者の県内就職率/日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	研修の実施回数	年6回以上	年6回実施	各種職員向け研修	時代に即した各種職員研修を実施するとともに研修への参加を促し、職員の資質向上及びスキルアップを目指します。	○	・前期は2回、後期4回、職員研修を実施しました。 研修実績 4/25転入者向け研修 8/20区長随行研修 10/13越佐にんげん学校 12/3三区合同(南)クレーマー&カスハラ研修 12/15二区合同(秋葉)メンタルヘルスセミナー 3/4二区合同(秋葉)人権研修	引き続き、高度化・複雑多様化する行政課題や急激に変化する経済社会状況等に対応できる職員育成に取り組みます。
2	区内公共交通のさらなる利用促進を図るとともに、地域の実情に応じた移動手段を地域と検討することにより、持続可能な地域の足を確保します。	政策14-1-②	①公共交通利用促進に向けた取組の実施回数 ②公共交通空白・不便地域の解消に向けた支援の実施	①5件以上 ②実施	①9件 ②実施	みんなで語り、考える使いやすい公共交通	生活交通改善プランの基本方針を踏まえ、地域に出向いた利用啓発に取り組むほか、公共交通空白・不便地域における助け合いの移送(高齢者の買い物支援)を本格実施するため、課題解決に向けた協議を地域や関係機関と進めます。	○	①9件の取り組みを実施。 ・シルバーチケット発行会:2会場(横越地区地域の茶の間) ・区だよりバス特集記事:4回掲載(区全体、横バス、カナリア号、区バス) ・小学生向けの区バス乗車体験会:3小学校(亀田東、亀田西、東曽野木) ②助け合いの移送について、事業実施主体であるコミ協(大江山)にヒアリングを実施し、現状を把握。	両川地域を対象に行った公共交通に対する意向調査および移動実態の分析結果なども鑑みながら、地域ごとの実情に応じた移動手段の検討を行っていく。
3	区の魅力発信や、特産品などの地域資源を活かした取組を通じて、区の知名度を向上させるとともに、学生の移住・定住(Uターン)の促進に繋がります。	政策11-1-②	①区の魅力を発信する情報誌の作成 ②ふるさと江南区宅配便の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	「江南区をPR」魅力発信プロジェクト	県外で暮らす江南区出身の学生や子育て世代の若者などをターゲットに、江南区の住みやすさや魅力などを発信し、江南区への移住につなげます。	○	①江南区の魅力発信と移住・定住の促進につなげる情報紙(5,000部)を作成し、市内公共施設および商業施設のほか、県外移住相談窓口等に設置。 ②区内11事業者からの協賛を得て、学生100名に送付。	R7年度を持って事業終了となるが、作成した情報紙により、魅力発信および移住・定住の促進を図っていく。
4	大規模な災害に対応するため、区民との協働により地域防災力を向上させます。	政策13-1-②	区内防災訓練実施件数 (・ジュニアレスキュー隊育成講習会は中学校1校あたり1件とする。 ・自主防災組織推奨訓練内容を含む講座等の開催は1件とする。)	40件	61件	・自主防災組織への支援 ・江南区ジュニアレスキュー隊育成講習会の開催 ・さわやかトーク宅配便(防災講座)	自主防災組織や地域コミュニティ協議会等への防災訓練を支援するほか、区内公立中学校全6校でのジュニアレスキュー隊育成講習会を通じて、若年層も含めた防災意識を啓発し、地域の防災力向上に努めます。	○	内訳 ・ジュニアレスキュー6件 ・自主防災訓練 47件(うち さわやかトーク3件) ・避難所運営訓練 3件 ・その他 5件 (自主防災組織結成説明会及び訓練4件、自主防災以外の地域団体によるさわやかトーク1件)	引き続き訓練促進を図っていく。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	課内研修開催件数(回数)	35回	66回	職員の市民対応の質を向上させるための課内研修の開催	日頃の市民対応等を通して、業務に関する根拠などを改めて確認することが必要と思われるものを、職員自らが見出し、それらをテーマとする研修を課内で開催します。	○	職員の市民対応の質を向上させるため初任者を対象としたものや法改正、システム改修等をテーマにした課内研修を66回実施しました。	職員の市民対応の質を向上させるため、引き続き、研修を実施します。
2	市民サービスの向上に向け、業務や窓口の改善を推進します。		改善実践件数	30件	64件	課内の窓口や業務改善活動の推進。	課内の業務改善活動を通して課題を把握し、業務や窓口の改善を実践します。	○	市民サービスの向上を目的とした改善を64件実施し、業務の効率化や事務漏れ防止を図りました。	引き続き、業務や窓口の改善活動を推進します。
3	子どもや高齢者をはじめとして、区民が安心して暮らせる環境づくりを進めます。		交通安全教室・街頭指導などの回数	80回	100回	交通安全活動の強化	交通安全運動期間における街頭指導・啓発活動を実施するとともに、交通安全教室、校区単位での交通安全活動の促進を図ります。また、高齢者・夜間の交通安全意識啓発に取り組みます。	○	交通安全活動の強化に取り組み交通安全教室82回、交通安全活動12回、啓発記事の区だより掲載6回の合計100回実施することができました。	引き続き、交通安全運動期間における街頭指導・啓発活動を実施するとともに、交通安全教室、校区単位での交通安全活動の促進を実施します。
4	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、美化推進活動に取り組みます。	政策16-施策2-②	ボランティア清掃実施件数	65件	91件	江南区美化推進活動	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、区民、事業者、行政が連携して行う地域一斉清掃や自治会・町内会等が実施するボランティア清掃を推進します。	○	江南区美化推進活動に取り組み自治会・町内会等のボランティア清掃を91件実施することができました。	引き続き、環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、区民、事業者、行政が連携して行う地域一斉清掃や自治会・町内会等が実施するボランティア清掃を推進します。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	横越出張所			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待にこたえられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	各種研修会への参加及び職場内研修の実施回数	5回	8回	各種研修会への参加及び職場内研修の実施	職員の窓口対応能力の向上を図るため、各種研修会へ参加し、業務知識を共有するため参加した職員による伝達研修を行います。また、職員のスキルアップを図るため、職場内研修を実施します。	○	各種業務研修を受講し、参加した職員による伝達研修を行いました また、区民生活課戸籍担当者による戸籍研修、出張所職員による住民票研修を開催し、より実践的な研修を行いました。	知識の共有化、業務のスキルアップを図るため、職員の研修参加と伝達研修を実施していきます。
2	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	職場ミーティング実施回数	24回	24回	職場ミーティングの実施	職場ミーティングにおいて、受付件数の少ない業務のフロー等を共有し、職員の知識の平準化を図ることで、適正な事務の執行を確保するとともに、コンプライアンス意識を浸透させ、職員一人ひとりの意識改革を図ります。	○	受付件数の少ない申請や、誤り易い申請があった際に職場ミーティングを実施し、職員の知識の平準化を図りました。	職員の知識の平準化を図り、適正な事務の執行を確保します。
3	来庁者にとって利用しやすく、心地良い施設づくりを進めます。		敷地内・庁舎内環境整備回数	24回	24回	施設の環境整備	敷地内・庁舎内の巡回・点検・整備を行います。	○	草取り、ゴミ拾い、清掃、待合いスペースに花を飾るなどの環境整備を実施しました。	今後も、来庁者にとって利用しやすく、心地良い施設づくりを進めます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合/障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合/住み慣れた地域で安心して暮し続けることができると思う高齢者の割合/新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	江南区			組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課	評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)				概要
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組めます。	行財1-4-①	研修の実施回数	年6回以上	7回	各種職員向け研修の実施	時代に即した各種職員研修を実施するとともに研修への参加を促し、職員の資質向上及びスキルアップを目指します。	○	各係が制度改正など業務に係る研修を実施することにより、職員のスキルアップに取り組めました。	引き続き職員の資質向上と、スキルアップを目指します。
2	障がいのある人に対応した就労の場の確保等に、商・農業者と連携して取り組みます。	政策7-2-③	マッチングシステムの活用による区内商・農業者との新規契約件数	2件	4件	担い手となる組織の立ち上げとマッチングシステムの構築	商・農業者と障がい福祉事業所による連携体制を構築し、仕事の受注、魅力ある授産品の開発や販路の拡大などを通じて、就労が難しい障がいのある人に対応した就労の場の確保や工賃増額に向けた取り組みを促進します。	○	地域企業と連携した亀田縞の魅力発信プロジェクトほか、地元飲食店や福祉事業所などとのマッチングを促進し、障がい者の就労先の確保につなげました。	商・農業者に対する発信を強化し、より多くの就労マッチングを試行しながら、仕組の構築に取り組んでいきます。
			授産品開発件数	1件	1件	魅力ある授産品の開発とプロモーション			地域内の商・農業者と福祉事業所との連携から、紫蘇ふりかけを開発し、障がい者の仕事の掘り起しにつなげました。	商・農業者との連携を維持しつつ、担い手となる福祉事業所の体制を整備し、授産活動の付加価値向上を図っていきます。
3	地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを世帯を支え、安心して暮らせる地域を実現します。	政策7-1-②	江南区見守りシール交付事業の関係者への周知件数	35件	55件	会議や訪問により関係者(医療機関・調剤薬局・金融機関等)へ事業を周知	福祉関係者のみならず自治会、コミ協、自治協をはじめ、商工業、農業関係者、市民に対して、地域を見守る目と見守る心の意識づけを行うことで、子育て世代、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。	○	医療機関18か所、調剤薬局12か所、金融機関11か所、区各民生児童委員協議会8か所、地域の茶の間等6か所で広く周知しました。	引き続き会議や訪問の際に関係機関への周知を行います。
		政策1-3-②	子育て応援団への新規登録者	30人	33人	地域で子育てを応援したい方に「江南区子育て応援団」に登録してもらい、江南区親善大使を活用した応援団バッジを配布			ふれあい祭りや区民生委員児童委員の会長会などで周知を行い、新規登録者数33人となりました。	引き続き、会議やイベントの際等で、周知を行っていきます。
4	障がい者が製作したアート作品を活用し、障がい者への理解を深めるとともに、共生社会についての機運醸成を図ります。	政策1-3-②	アンケート結果の評価	4.0点以上	4.49点	障がい者アートの展示による共生社会の周知および啓発活動の実施	福祉施設や特別支援学校等が集積した江南区の地域特性を生かし、障がい者に対する理解促進の取組みを進め、共生社会実現に向けたまちづくりを行います。	○	関係団体との連携・推進体制を構築し、障がい者アートの展示などを通じて、共生のまちづくりに向けた機運醸成を図りました。	関係団体との連携により、地域が一体となった企画を立案し、アート展示を通じた機運醸成に取り組んでいきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R7.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課		評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	歴史ある亀田縞など地域に根差した産業の振興と活性化に向けた取り組みを推進します。	政策8-1-④ 行財3-2-②	亀田縞の活用を推進する取り組み数(事業)	4	4	・地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり	総合学習への支援や情報紙発行などにより地域ブランドとしての認知度向上を図ります。また、亀田縞の利用拡大と、地域アイデンティティとしての醸成を促進します。	○	・縞だより発行(7.12.3月) ・タペストリー設置(3か所設置済) ・総合学習実施(4小学校) ・亀田縞ブランドプロモーション事業委託(実施) ・2ndラインスタートアップ事業(3件) ・認知度向上への取組(大阪関西万博ほか)	引き続き地域のアイデンティティの醸成や2ndラインを含めた利用拡大を進めるとともに、にいがた2kmエリアを中心とした露出拡大などの取り組みを通じて、地域産業の振興と亀田縞の地位向上を目指します。
2	地域コミュニティの一端を担う商店街などの地域商業の振興を図るとともに、地域に根差した歴史、文化、まちなみ、郷土芸能などの地域の宝を活用することで交流人口の拡大と地域商業の活性化を推進します。	政策8-1-④ 行財3-2-②	商工観光への支援に関する取り組み数(事業)	2	2	・地域商業活性化支援	商業関係者などとともに区内の個店を巡るような取組みや、地域の歴史あるイベントへの支援を通じて、区全体の商業の活性化を進めます。	○	・お店元気プラスキャンペーン(スタンプラリーの手法を見直して9月～11月実施) ・マルシェ(りょうかわ夢まつり10/5、大江山地区文化の祭典マルシェ11/3)	引き続き、商業関係者などと連携し、区内全体の商業の活性化につながる取組を進めます。
3	江南区が有する素晴らしい歴史や伝統を後世へ継承し、文化芸術などに触れる機会を提供します。	政策2-2-①	江南区歴史・文化の学習支援事業を利用する学校数(校)	6	8	・江南区歴史・文化の学習支援 ・文化芸術の創造・発信	地域の歴史や文化を学ぶことでふるさとへの誇りや愛着を醸成を図ります。また、江南区文化会館などにおいて文化芸術に触れる機会を提供し、文化の振興と魅力あるまちづくりを推進します。	○	・区内小学校10校のうち、8校(726人)からの申し込みがあり、順次、施設見学等の学習支援を行いました。	引き続き、区内歴史文化施設での現地学習を通じて、児童が魅力ある地域の歴史や文化を学ぶ取り組みを推進します。
4	江南区の農業の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図る取り組みを進めます。	政策9-2-② 行財3-2-②	江南区産農産物のPR等の取り組み回数(回)	4	4	・江南区まるごとプロモーション事業	江南区産農産物や農産加工品のPRを実施し、更なる地産地消を推進します。また、よこごし公園マルシェを継続的に開催し、更なる賑わいの創出につなげます。	○	・農商工連携協議会の取り組みとして、江南区観光親善大使を活用した商品を開発しました。 ・よこごし公園マルシェを予定どおり実施しました(5/25.7/27.9/28) ・いきいきフェスタ(11/2)は悪天候により中止となりましたが、実施に向けた準備を確実に先行い次年度につながる取組となりました。 ・梅まつりは3月22日に実施	引き続き江南区の魅力である農産物や観光資源などを、官民連携により一体的にプロモーションを実施します。
5	民間事業者など多様な主体との公民連携によるまちづくりを進めるため、民間事業者からの提案・相談を受け、地域活性化につながる取り組みを支援します。	行財3-2-②	新たに民間事業者が主体となる取り組みに対して新規に支援した件数(回)	2	3	・公民連携による地域活性化の推進	民間事業者が主体となる地域活性化につながる取組に対して、実行委員会参画や補助金などにより支援します。	○	・地域おこし協力隊について条件に合致した人材の採用を決定しました。 (9・10月説明会、10/3-5フィールドツアー、11月選考、2/16～着任) ・大江山地区文化の祭典マルシェを11/31に開催しました。(再掲) ・農商工連携協議会の取り組みとして、江南区観光親善大使を活用した商品を開発しました。(再掲) ・江南区青年5団体連絡会議と連携した交流イベントを実施しました。(3/3)	引き続き民間事業者が主体となる地域活性化につながる取組に対して支援を行います。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。		都市計画区域の見直し(市街化区域の編入)に関する関係機関との協議	関係機関(北陸農政局個別協議)との協議を進める。	関係機関(北陸農政局個別協議)との協議を計画的に進め、局の了承を得ることが出来た。	新潟都市計画区域区域区分(線引き)の全体見直し	開発候補地区の市街化区域編入に向けた北陸農政局との個別協議に必要な資料作成や関連する県や土地改良との調整を行う。	○	・開発候補地区の市街化区域編入に向けた北陸農政局との協議を終え目標は達成し、新潟都市計画区域区分(線引き見直し)の変更手続きを進めている。	・計画的な土地利用が図られるよう、線引き見直し後は、速やかに開発事業をスタートさせるため、開発事業者や関係機関と協議や調整等を進めます。
2	複雑化、多様化する区民ニーズや課題に対して、質の高い行政サービスを提供します。		3日以内での対応率(%)	100%	100%	区民対応の迅速化	窓口や電話、メール等での突発的な区民からの苦情・要望に対して、対応方針を開庁3日以内に伝えるなど迅速・丁寧に対応する。	○	・苦情、要望(266件)を迅速、丁寧に対応し、目標を達成した。 ・「苦情等受付簿」を作成し、月毎に対応状況を集計し管理した。	・目標を達成。 ・引き続き、苦情、要望を迅速、丁寧に対応し、目標を達成します。
3	区民要望の速やかな実現と施工時期の平準化を図るため、工事の早期発注を行います。		上半期発注率(%)	80%	100%	工事の早期発注	年間発注予定件数50件(まちづくり整備G12件、維持係38件)	○	・1月末時点で、当初予定工事の100.0%(50/50)を発注した。 ・発注状況を、月毎の進捗会議で管理した。	・目標を達成。 ・引き続き、区民要望の早期実現に向けて取り組みます。
4	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	研修会実施回数(回)	4回	4回	職員の能力開発、キャリア育成	職員の専門知識、技術力及び説明能力の向上を図る研修会実施する。	○	・研修会を4回実施済。 第1回 5/7(24名) 第2回 10/15(23名) 第3回 11/27(24名) 第4回 12/16(22名) 合計延べ93名 ・研修内容について受講者よりアンケートを実施し、講師へ評価を周知した。	・引き続き、高度化、複雑多様化する行政課題や急激に変化する社会経済状況等に対応できる職員の育成に取り組みます。